

## 2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	専攻科・医療秘書専攻		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	演習
科 目 名	レセプト実務		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	前期	教室名	
担 当 教 員	笠村 幸子	実務経験と その関連資格	近畿大学病院にて医事課に勤務。診療報酬請求事務能力認定試験(医科)。			
《授業科目における学習内容》						
医療秘書技能検定3級を目指すことで、診療録をもとに外来の1か月分の診療報酬明細書を作成できるようになる。						
《成績評価の方法と基準》						
科目修了試験(70%)、出席評価点(20%)、平常評価点(10%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書:『診療点数早見表』、『基本カルテ例題集』、『医療秘書技能検定実問題集3級②』						
《授業外における学習方法》						
授業で学習した診療料の算定方法や明細書の記載要領の復習を行う。また、授業終了時に示す課題を実施しておくこと。						
《履修に当たっての留意点》						
検定試験のために、繰り返し学習し理解をしましょう。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	被用者保険と国民保険の法別番号について説明できる。	診療点数早見表	授業終了時に示す課題を実施しておくこと	
		各コマにおける授業予定	医療保険体系について理解する。			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	医療保険の種類や患者負担割合を学び、診療録の頭書き部分を診療報酬明細書に書くことができる。	診療点数早見表 基本カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと	
		各コマにおける授業予定	医療保険の患者負担割合、診療報酬明細書の頭書き部分の書き方を理解する。			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	初診料の見分け方を学ぶことで、診療録を見て、初診か再診を説明することができる。	診療点数早見表 基本カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと	
		各コマにおける授業予定	点数と円の関係、診療録から初診料の見分け方を理解する。			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	初診料を学ぶことで、診療録から初診・再診を見分け、初診料の点数計算ができ、明細書へ記載できるようになる。	診療点数早見表 基本カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと	
		各コマにおける授業予定	初診料の基本点数と加算点数の算定方法、明細書への記載要領を理解する。			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	診療録から初診・再診を見分け、再診料の点数計算ができ、明細書へ記載できるようになる。	診療点数早見表 基本カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと	
		各コマにおける授業予定	再診料の基本点数と加算点数の算定方法、明細書への記載要領を理解する。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	薬剤情報提供料の算定方法を説明でき、明細書へ記載できるようになる。	診療点数早見表 基本カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	薬剤情報提供料の算定方法、明細書への記載要領を理解できる。		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	投与されている薬が内服、頓服、外用のどれにあたるか説明できるようになる。	診療点数早見表 基本カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	診療録に書いてある投薬の種類(内服・頓服・外用)を理解する。		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	診療録から投薬料(内服薬・頓服薬)を見分け計算ができ、明細書へ記載ができるようになる。	診療点数早見表 基本カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	投薬(内服薬、頓服薬)を理解する。		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	診療録から投薬料(外用薬)を見分け計算ができ、明細書へ記載ができるようになる。	診療点数早見表 基本カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	投薬(外用薬)を理解する。		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	投与されている薬の計算、処方料、調剤料、調基料の算定方法を説明でき、明細書へ記載することができるようになる。	診療点数早見表 基本カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	投薬料(処方料、調剤料、調基料)が理解できる。		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	投薬料に関する加算点数を学び、薬の種類、病名から加算点数を算定することができるようになる。	診療点数早見表 基本カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	投薬料(麻毒加算、特定疾患処方管理加算)を理解する。		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	皮下筋肉内注射、静脈内注射の算定方法を説明し明細書へ記載することができるようになる。	診療点数早見表 基本カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	注射料(皮下筋肉内注射、静脈内注射)の算定方法を理解する。		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	注射料に関する加算点数(麻薬加算、生物学的製剤加算)を学び、算定方法を理解し明細書へ記載することができるようになる。	診療点数早見表 基本カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	注射料(麻薬加算、生物学的製剤加算)を理解する。		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	点滴注射の算定方法を説明し明細書へ記載することができるようになる。	診療点数早見表 基本カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	点滴注射の算定方法を理解する。		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	処置料の仕組みを理解し、口腔咽頭処置の算定方法を学び、明細書へ記載することができる。	診療点数早見表 基本カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	処置料の仕組みを理解する。		

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	専攻科・医療秘書専攻		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	演習
科 目 名	レセプト実務		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	前期	教室名	
担 当 教 員	笠村 幸子	実務経験と その関連資格	近畿大学病院にて医事課に勤務。診療報酬請求事務能力認定試験(医科)。			
《授業科目における学習内容》						
医療秘書技能検定3級を目指すことで、診療録をもとに外来の1か月分の診療報酬明細書を作成できるようになる。						
《成績評価の方法と基準》						
科目修了試験(70%)、出席評価点(20%)、平常評価点(10%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書:『診療点数早見表』、『基本カルテ例題集』、『医療秘書技能検定実問題集3級②』						
《授業外における学習方法》						
授業で学習した診療料の算定方法や明細書の記載要領の復習を行う。また、授業終了時に示す課題を実施しておくこと。						
《履修に当たっての留意点》						
検定試験のために、繰り返し学習し理解をしましょう。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 16 回	授業を 通じての 到達目標	処置料(創傷処置、熱傷処置)の算定方法を説明でき明細書へ記載することができるようになる。		診療点数早見表 基本カルテ例題 集	授業終了時に示す課題 を実施しておくこと	
	各コマに おける 授業予定	処置料(創傷処置、熱傷処置)の算定方法を理解する。				
第 17 回	授業を 通じての 到達目標	処置料(皮膚科軟膏処置、消炎鎮痛等処置)、注射料(関節腔内注射)の算定方法を説明でき明細書へ記載することができるようになる。		診療点数早見表 基本カルテ例題 集	授業終了時に示す課題 を実施しておくこと	
	各コマに おける 授業予定	処置料(皮膚科軟膏処置、消炎鎮痛等処理)、注射料(関節腔内注射)の算定方法を理解する。				
第 18 回	授業を 通じての 到達目標	手術料(創傷処理)、処置料(抜糸)の算定方法を説明でき明細書へ記載することができるようになる。		診療点数早見表 基本カルテ例題 集	授業終了時に示す課題 を実施しておくこと	
	各コマに おける 授業予定	手術料(創傷処理)、処置料(抜糸)の算定方法を理解する。				
第 19 回	授業を 通じての 到達目標	個室内薬液注入、耳鼻科系の処置の算定方法を説明でき明細書へ記載することができるようになる。		診療点数早見表 基本カルテ例題 集	授業終了時に示す課題 を実施しておくこと	
	各コマに おける 授業予定	個室内薬液注入、耳鼻科系の処置の算定方法を理解する。				
第 20 回	授業を 通じての 到達目標	検体検査①(尿糞便学)の算定方法を説明でき明細書へ記載することができるようになる。		診療点数早見表 基本カルテ例題 集	授業終了時に示す課題 を実施しておくこと	
	各コマに おける 授業予定	検体検査①(尿糞便学)の算定方法を理解する。				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第21回	演習形式	授業を通じての到達目標	検体検査②(血液学、生化学Ⅰ)の算定方法を説明でき明細書へ記載することができるようになる。	診療点数早見表 基本カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	検体検査②(血液学、生化学Ⅰ)の算定方法を理解する。		
第22回	演習形式	授業を通じての到達目標	検体検査③(免疫学、微生物学)の算定方法を説明でき明細書へ記載することができるようになる。	診療点数早見表 基本カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	検体検査③(免疫学、微生物学)の算定方法を理解する。		
第23回	演習形式	授業を通じての到達目標	生体検査(仕組み、心電図)、医学管理(特定疾患療養管理料)の算定方法を説明でき明細書へ記載することができるようになる。	診療点数早見表 基本カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	生体検査(仕組み、心電図)、医学管理(特定疾患療養管理料)の算定方法を理解する。		
第24回	演習形式	授業を通じての到達目標	検査料(尿沈渣と塗抹顕微鏡検査の関係)の算定方法を説明でき明細書へ記載することができるようになる。	診療点数早見表 基本カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	検査料(尿沈渣と塗抹顕微鏡検査の関係)の算定方法を理解する。		
第25回	実習形式	授業を通じての到達目標	腎盂洗浄、細菌薬剤感受性検査の算定方法を説明でき明細書へ記載することができるようになる。	診療点数早見表 基本カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	腎盂洗浄、細菌薬剤感受性検査の算定方法を理解する。		
第26回	演習形式	授業を通じての到達目標	眼科系検査の算定方法を説明でき明細書へ記載することができるようになる。	診療点数早見表 基本カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	眼科系検査の算定方法を理解する。		
第27回	演習形式	授業を通じての到達目標	画像診断(単純撮影)の算定方法を説明でき明細書へ記載することができるようになる。	診療点数早見表 基本カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	画像診断(単純撮影)の算定方法を理解する。		
第28回	演習形式	授業を通じての到達目標	画像診断(方向分画・緊急画像診断)、検査料(緊急検体検査)の算定方法を説明でき明細書へ記載することができるようになる。	診療点数早見表 基本カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	画像診断(方向分画・緊急画像診断)、検査料(緊急検体検査)の算定方法を理解する。		
第29回	演習形式	授業を通じての到達目標	診療情報提供料、肝炎ウイルス検査、四肢ギプス包帯の算定方法を説明でき明細書へ記載することができるようになる。	診療点数早見表 基本カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	診療情報提供料、肝炎ウイルス検査、四肢ギプス包帯の算定方法を理解する。		
第30回	演習形式	授業を通じての到達目標	電子画像管理加算、超音波検査の算定方法を説明でき明細書へ記載することができるようになる。	診療点数早見表 基本カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	電子画像管理加算、超音波検査の算定方法を理解する。		

## 2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	専攻科・医療秘書専攻		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	演習
科 目 名	レセプト実務		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	前期	教室名	
担 当 教 員	笠村 幸子	実務経験と その関連資格	近畿大学病院にて医事課に勤務。診療報酬請求事務能力認定試験(医科)。			
《授業科目における学習内容》						
医療秘書技能検定3級を目指すことで、診療録をもとに外来の1か月分の診療報酬明細書を作成できるようになる。						
《成績評価の方法と基準》						
科目修了試験(70%)、出席評価点(20%)、平常評価点(10%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書:『診療点数早見表』、『基本カルテ例題集』、『医療秘書技能検定実問題集3級②』						
《授業外における学習方法》						
授業で学習した診療料の算定方法や明細書の記載要領の復習を行う。また、授業終了時に示す課題を実施しておくこと。						
《履修に当たっての留意点》						
検定試験のために、繰り返し学習し理解をしましょう。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 31 回	演習形式	授業を通じての到達目標	医療秘書技能検定3級過去問題第61回の算定方法を理解し解けるようになる。	診療点数早見表 基本カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと	
		各コマにおける授業予定	医療秘書技能検定3級過去問題第61回の算定方法を理解する。			
第 32 回	演習形式	授業を通じての到達目標	医療秘書技能検定3級過去問題第60回の算定方法を理解し解けるようになる。	診療点数早見表 基本カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと	
		各コマにおける授業予定	医療秘書技能検定3級過去問題60回の算定方法を理解する。			
第 33 回	演習形式	授業を通じての到達目標	医療秘書技能検定3級過去問題第59回の算定方法を理解し解けるようになる。	診療点数早見表 基本カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと	
		各コマにおける授業予定	医療秘書技能検定3級過去問題59回の算定方法を理解する。			
第 34 回	演習形式	授業を通じての到達目標	医療秘書技能検定3級過去問題第58回の算定方法を理解し解けるようになる。	診療点数早見表 基本カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと	
		各コマにおける授業予定	医療秘書技能検定3級過去問題58回の算定方法を理解する。			
第 35 回	演習形式	授業を通じての到達目標	医療秘書技能検定3級過去問題第57回の算定方法を理解し解けるようになる。	診療点数早見表 基本カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと	
		各コマにおける授業予定	医療秘書技能検定3級過去問題57回の算定方法を理解する。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第36回	演習形式	授業を通じての到達目標	医療秘書技能検定3級過去問題第56回の算定方法を理解し解けるようになる。	診療点数早見表 基本カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	医療秘書技能検定3級過去問題56回の算定方法を理解する。		
第37回	演習形式	授業を通じての到達目標	医療秘書技能検定3級過去問題第62回検定試験自己採点し理解し解けるようになる。	診療点数早見表 基本カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	医療秘書技能検定3級第62回の算定方法を理解する。		
第38回	演習形式	授業を通じての到達目標	胃透視、胃造影、外来栄養指導料の算定方法を説明でき明細書へ記載することができるようになる。	診療点数早見表 基本カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	胃透視、胃造影、外来栄養指導料の算定方法を理解する。		
第39回	演習形式	授業を通じての到達目標	内視鏡検査、脳波検査の算定方法を説明でき明細書へ記載することができるようになる。	診療点数早見表 基本カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	内視鏡検査、脳波検査の算定方法を理解する。		
第40回	演習形式	授業を通じての到達目標	内視鏡下生検法、病理組織検査、病理判断料、同日複数再診の算定方法を説明でき明細書へ記載することができるようになる。	診療点数早見表 基本カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	内視鏡下生検法、病理組織検査、病理判断料、同日複数再診の算定方法を理解する。		
第41回	演習形式	授業を通じての到達目標	画像診断管理加算の算定方法を説明でき明細書へ記載することができるようになる。	診療点数早見表 基本カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	画像診断管理加算の算定方法を理解する。		
第42回	演習形式	授業を通じての到達目標	CT・MRI、介達牽引の算定方法を説明でき明細書へ記載することができるようになる。	診療点数早見表 基本カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	CT・MRI、介達牽引の算定方法を理解する。		
第43回	演習形式	授業を通じての到達目標	CT・MRIの同一月の算定、腫瘍マーカー検査の算定方法を説明でき明細書へ記載することができるようになる。	診療点数早見表 基本カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	CT・MRIの同一月の算定、腫瘍マーカー検査の算定方法を理解する。		
第44回	演習形式	授業を通じての到達目標	外来診療料、てんかん指導、ホルター型心電図の算定方法を説明でき明細書へ記載することができるようになる。	診療点数早見表 基本カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	外来診療料、てんかん指導、ホルター型心電図		
第45回	演習形式	授業を通じての到達目標	外来迅速検体検査加算、UCGの算定方法を説明でき明細書へ記載することができるようになる。	診療点数早見表 基本カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	外来迅速検体検査加算、UCGの算定方法を理解する。		

## 2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	専攻科・医療秘書専攻		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	演習
科 目 名	レセプト実務		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	前期	教室名	
担 当 教 員	笠村 幸子	実務経験とその関連資格	近畿大学病院にて医事課に勤務。診療報酬請求事務能力認定試験(医科)。			
《授業科目における学習内容》						
医療秘書技能検定3級を目指すことで、診療録をもとに外来の1か月分の診療報酬明細書を作成できるようになる。						
《成績評価の方法と基準》						
科目修了試験(70%)、出席評価点(20%)、平常評価点(10%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書:『診療点数早見表』、『基本カルテ例題集』、『医療秘書技能検定実問題集3級②』						
《授業外における学習方法》						
授業で学習した診療料の算定方法や明細書の記載要領の復習を行う。また、授業終了時に示す課題を実施しておくこと。						
《履修に当たっての留意点》						
検定試験のために、繰り返し学習し理解をしましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第46回	演習形式	授業を通じての到達目標	注腸造影と高位浣腸の算定方法を説明でき明細書へ記載することができるようになる。	診療点数早見表 基本カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと	
		各コマにおける授業予定	注腸造影と高位浣腸の算定方法を理解する。			
第47回	演習形式	授業を通じての到達目標	悪性腫瘍特異物質治療管理料の算定方法を説明でき明細書へ記載することができるようになる。	診療点数早見表 基本カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと	
		各コマにおける授業予定	悪性腫瘍特異物質治療管理料の算定方法を理解する。			
第48回	演習形式	授業を通じての到達目標	在宅自己注射指導管理料①の算定方法を説明でき明細書へ記載することができるようになる。	診療点数早見表 基本カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと	
		各コマにおける授業予定	在宅自己注射指導管理料①の算定方法を理解する。			
第49回	演習形式	授業を通じての到達目標	在宅自己注射指導管理料②、糖負荷試験の算定方法を説明でき明細書へ記載することができるようになる。	診療点数早見表 基本カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと	
		各コマにおける授業予定	在宅自己注射指導管理料②、糖負荷試験の算定方法を理解する。			
第50回	演習形式	授業を通じての到達目標	往診料①の算定方法を説明でき明細書へ記載することができるようになる。	診療点数早見表 基本カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと	
		各コマにおける授業予定	往診料①の算定方法を理解する。			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第51回	演習形式	授業を通じての到達目標 往診料②の算定方法を説明でき明細書へ記載することができるようになる。	診療点数早見表 基本カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	往診料②の算定方法を理解する。		
第52回	演習形式	授業を通じての到達目標 外来レセプトと入院レセプトの違いを理解でき、入院レセプトの明細書を記載できるようになる。	診療点数早見表 基本カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	外来レセプトと入院レセプトの違いが理解できる。		
第53回	演習形式	授業を通じての到達目標 入院基本料の算定方法を説明でき明細書へ記載することができるようになる。	診療点数早見表 基本カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	入院基本料の算定方法を理解する。		
第54回	演習形式	授業を通じての到達目標 食事療養費の算定方法を説明でき明細書へ記載することができるようになる。	診療点数早見表 基本カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	食事療養費の算定方法を理解する。		
第55回	演習形式	授業を通じての到達目標 検査料(生化学 I 初回加算)、入院調剤料の算定方法を説明でき明細書へ記載することができるようになる。	診療点数早見表 基本カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	検査料(生化学 I 初回加算)、入院調剤料の算定方法を理解する。		
第56回	演習形式	授業を通じての到達目標 処置料(ドレーン法)、注射料(点滴)の算定方法を説明でき明細書へ記載することができるようになる。	診療点数早見表 基本カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	処置料(ドレーン法)、注射料(点滴)の算定方法を理解する。		
第57回	演習形式	授業を通じての到達目標 時間外の入院、入院の緊検・緊画、検体検査管理加算の算定方法を説明でき明細書へ記載することができるようになる。	診療点数早見表 基本カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	時間外の入院、入院の緊検・緊画、検体検査管理加算の算定方法を理解する。		
第58回	演習形式	授業を通じての到達目標 処置料(酸素吸入①)の計算ができるようになる。	診療点数早見表 基本カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	処置料(酸素吸入①)の計算方法を理解する。		
第59回	演習形式	授業を通じての到達目標 処置料(酸素吸入②、補正率)、薬剤管理指導料の算定方法を説明でき明細書へ記載することができるようになる。	診療点数早見表 基本カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	処置料(酸素吸入②、補正率)、薬剤管理指導料の算定方法を理解する。		
第60回	演習形式	授業を通じての到達目標 特定薬剤治療管理料の算定方法を説明でき明細書へ記載することができるようになる。	診療点数早見表 基本カルテ例題集	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	特定薬剤治療管理料の算定方法を理解する。		